

平成22年3月10日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

「京都議定書目標達成特別支援無利子融資利子補給金交付制度」
を活用した環境融資を信託銀行で初めて実施

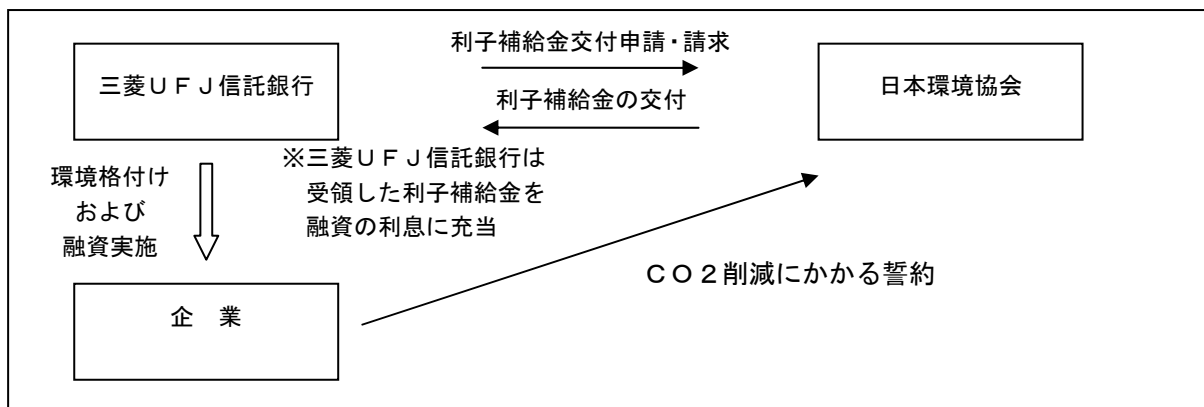
三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 岡内欣也）は、環境省「京都議定書目標達成特別支援無利子融資利子補給金交付制度」（以下「本制度」）を活用し、第1号案件として本日、清水建設株式会社（代表取締役社長 宮本洋一）、およびイオンモール株式会社（代表取締役社長 村上教行）に対し環境融資を実施いたしました。なお、今回の環境融資は信託銀行として初めての取り組みとなります。

本制度は財団法人日本環境協会より指定金融機関に選定された金融機関が行う地球温暖化対策資金に係る環境融資に対し、3年間3%を上限に利子補給が行われるものです。なお、本制度の適用を受けるには、企業は指定金融機関が実施する「環境格付」を取得し、かつ、日本環境協会に対し「CO2排出原単位又はCO2排出量を3年以内に6%以上削減もしくは5年以内に10%以上削減」との誓約を行い、達成することが条件となります。

三菱UFJ信託銀行では、今後も本制度や当社独自の環境融資商品である「CO2削減サポートローン」など各種環境融資を通じて、企業の地球温暖化対策推進を支援して参ります。

以上

<本制度のスキーム図>



（ご参考）第1号案件の概要

- 清水建設株式会社
資金使途：「新本社ビル」の建設資金
環境格付：三菱UFJ信託銀行から3段階のうち最高ランクの格付を取得
- イオンモール株式会社
資金使途：「イオンモール新瑞橋」の建設資金
環境格付：三菱UFJ信託銀行から3段階のうち最高ランクの格付を取得

(ご参考資料)

◇ 「清水建設新本社ビル」(イメージ図)



清水建設株式会社は、国内最高レベルの省エネルギービルとなる新本社ビルを中央区京橋に建設中です。

同ビルは、太陽光発電パネルや輻射空調システムの導入、さらには全館へのLED照明の採用などにより、運用段階でのCO₂排出量が従来のオフィスビルに比べて50%削減される「カーボンハーフ・ビル」となります。

今回調達した資金は同ビルの建設資金に活用します。

◇ 「イオンモール新瑞橋」(イメージ図)



イオンモール株式会社は、ショッピングセンター(S C)の開発にあたり、従来より「人と環境に配慮したS C」の実現に取り組んでいます。

2010年3月9日グランドオープンの「イオンモール新瑞橋」においても、氷蓄熱空調システムや高効率冷凍機、太陽光発電パネルの導入や照明へのLED採用によりCO₂排出量の削減を推進しています。

今回調達した資金は同S Cの設備資金に活用します。